

令和5年7月26日開催
第2回狭山市地域公共交通活性化協議会 資料3

狭山市地域公共交通計画 (現況編) (案)

狭山市
令和5年7月

目 次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 第 1 章 公共交通を取り巻く現状と課題..... | 1 |
| 1.1 地域の特性..... | 1 |
| 1.1.1 人口動態..... | 1 |
| 1.1.2 人の動き..... | 4 |
| 1.1.3 人口分布と主要施設の立地状況..... | 6 |
| 1.1.4 自動車保有状況..... | 12 |
| 1.1.5 観光来訪者..... | 13 |
| 1.2 地域公共交通の現状..... | 14 |
| 1.2.1 既存の地域公共交通網..... | 14 |
| 1.2.2 地域公共交通力バー圏域..... | 15 |
| 1.2.3 地域公共交通の状況..... | 16 |
| 1.2.4 地域公共交通に係る市負担額..... | 21 |
| 1.3 上位・関連計画における公共交通の位置づけ..... | 22 |
| 1.4 地域の現状から見える問題点・課題の整理（現時点）..... | 23 |

第1章 公共交通を取り巻く現状と課題

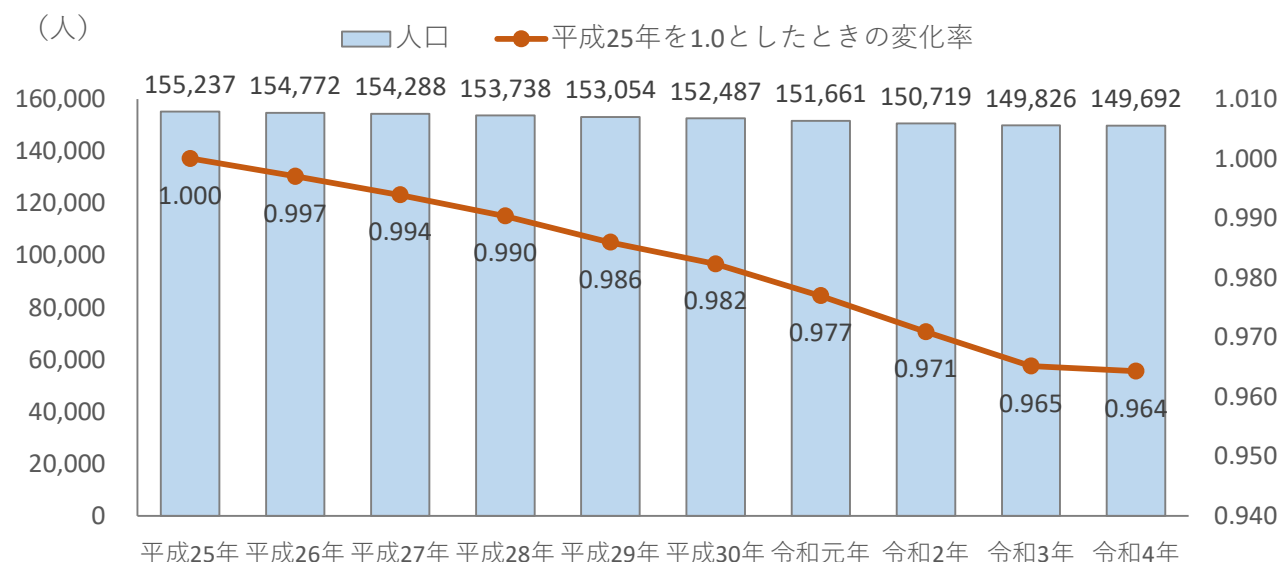
1.1 地域の特性

1.1.1 人口動態

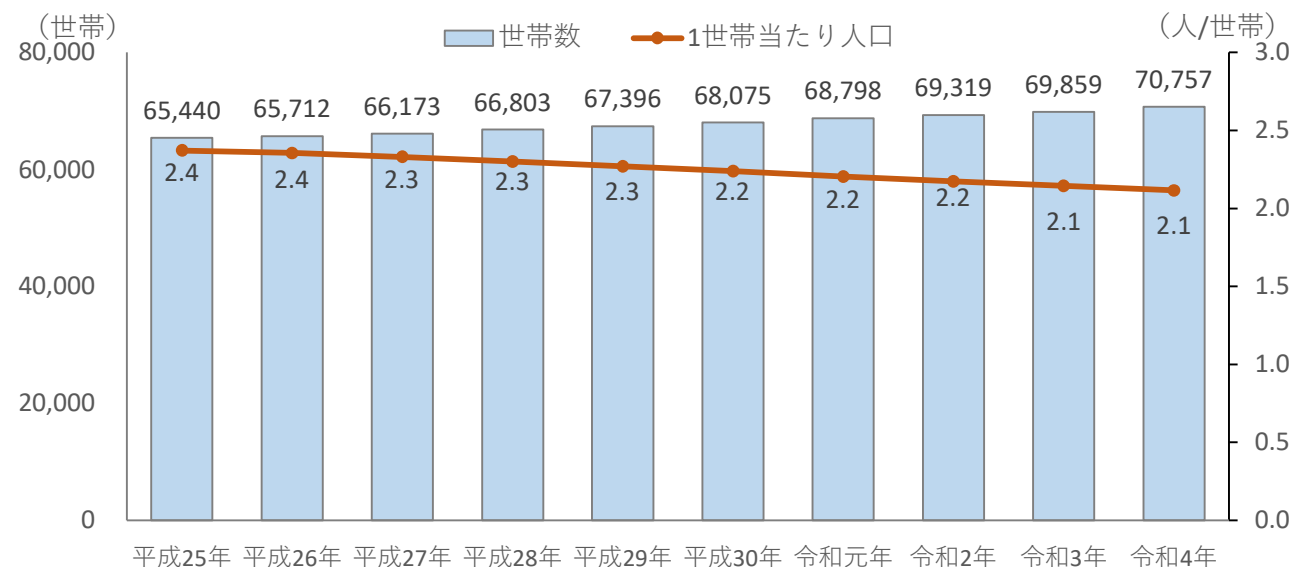
(1) 人口推移

本市の人口は、令和4年で約149,700人、世帯数は約70,800世帯となっており、平成25年を1.0としたときの変化率では、0.964となっています。令和4年の人口は、5年前の平成29年に比べて、約3,400人減少している一方で、世帯数は平成29年に比べて約3,400世帯増加しており、令和4年の1世帯当たり人口は2.1人となっています。

■人口の推移



■世帯数及び1世帯当たり人口の推移



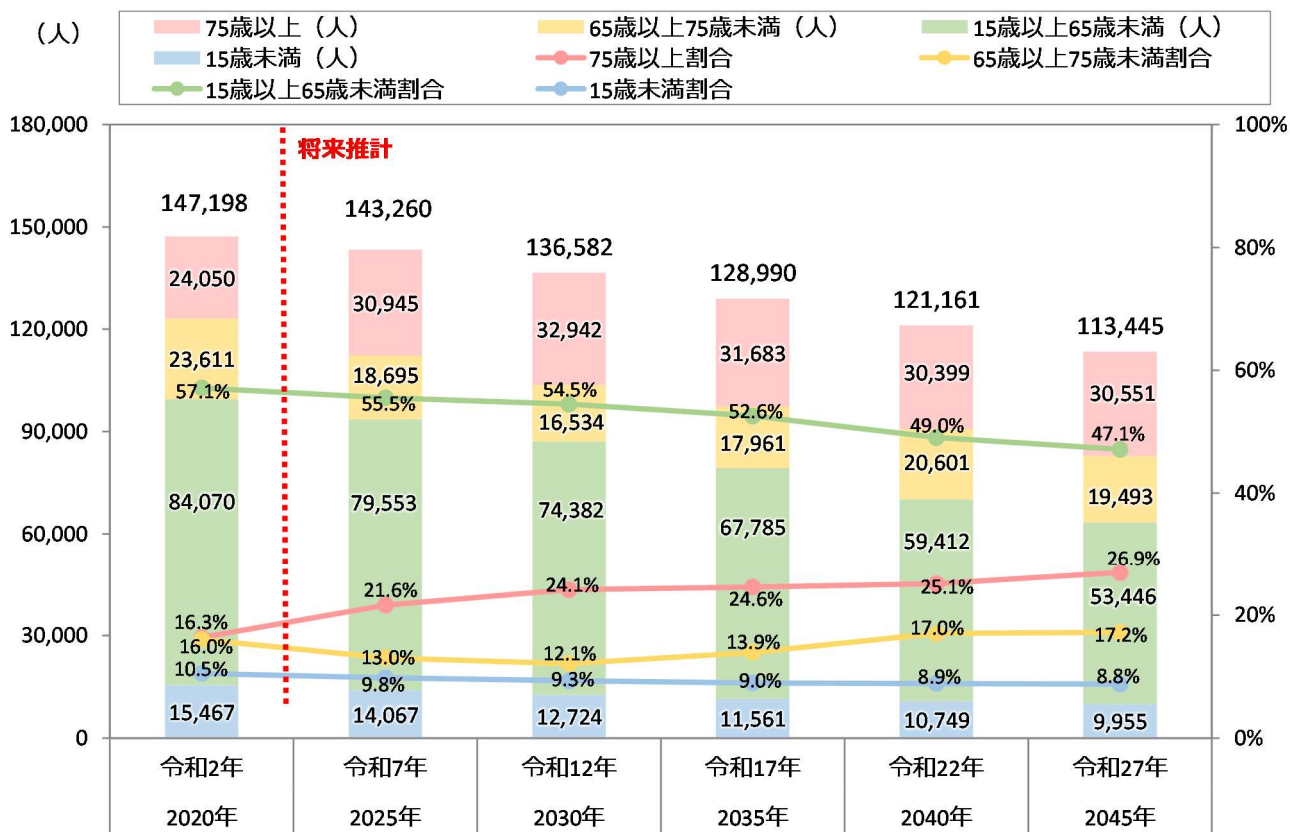
(2) 人口推計

国立社会保障・人口問題研究所による人口推計では、本市の人口は経年的な減少傾向で推移するとされており、令和2年の約147,200人から令和27年には約113,400人にまで減少することが見込まれています。

年齢別での推移では、15歳未満の年少人口割合は、令和2年の10.5%から令和27年の8.8%に減少、15歳以上65歳未満の生産年齢人口割合は57.1%から47.1%に減少する一方で、65歳以上の老年人口割合は32.4%から44.1%にまで増加する見込みとなっています。

■人口の推計

| | 2020年 | 2025年 | 2030年 | 2035年 | 2040年 | 2045年 |
|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 令和2年 | 令和7年 | 令和12年 | 令和17年 | 令和22年 | 令和27年 |
| 15歳未満（人） | 15,467 | 14,067 | 12,724 | 11,561 | 10,749 | 9,955 |
| 15歳以上65歳未満（人） | 84,070 | 79,553 | 74,382 | 67,785 | 59,412 | 53,446 |
| 65歳以上（人） | 47,661 | 49,640 | 49,476 | 49,644 | 51,000 | 50,044 |
| 65歳以上75歳未満（人） | 23,611 | 18,695 | 16,534 | 17,961 | 20,601 | 19,493 |
| 75歳以上（人） | 24,050 | 30,945 | 32,942 | 31,683 | 30,399 | 30,551 |
| 総人口（人） | 147,198 | 143,260 | 136,582 | 128,990 | 121,161 | 113,445 |
| 15歳未満割合 | 10.5% | 9.8% | 9.3% | 9.0% | 8.9% | 8.8% |
| 15歳以上65歳未満割合 | 57.1% | 55.5% | 54.5% | 52.6% | 49.0% | 47.1% |
| 65歳以上割合 | 32.4% | 34.7% | 36.2% | 38.5% | 42.1% | 44.1% |
| 65歳以上75歳未満割合 | 16.0% | 13.0% | 12.1% | 13.9% | 17.0% | 17.2% |
| 75歳以上割合 | 16.3% | 21.6% | 24.1% | 24.6% | 25.1% | 26.9% |

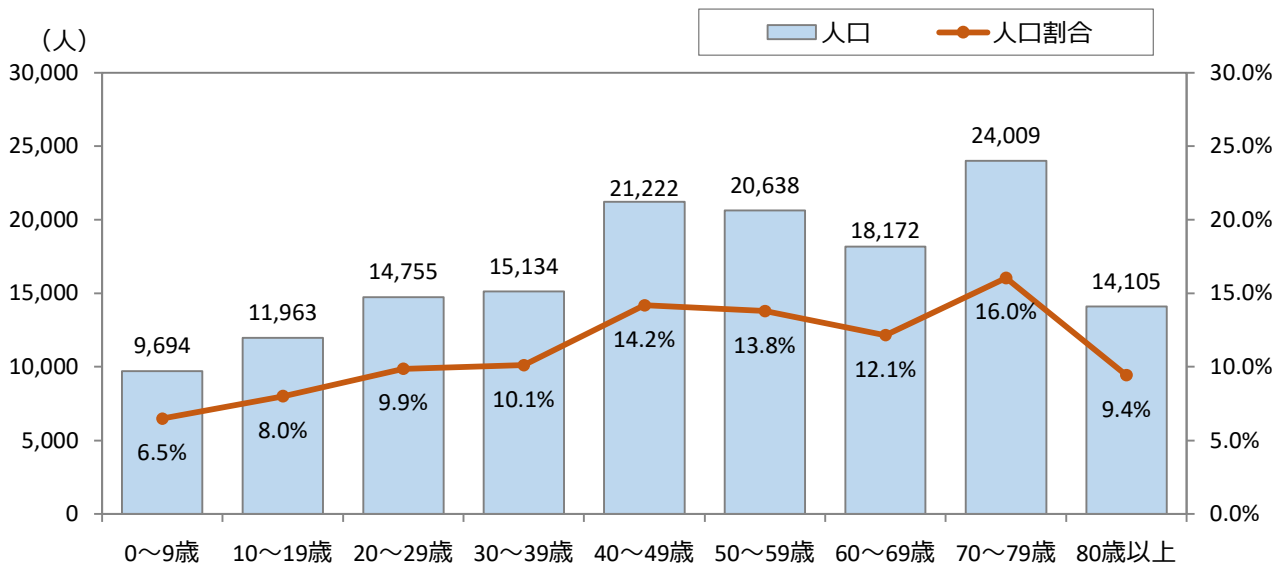


資料：令和2年国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所（各年10月1日現在）

(3) 年齢別人口

令和4年の年齢別人口を見ると70歳代が約24,000人、40歳代が約21,200人と多くなっており、60歳以上の人口は、全人口の37.5%となっています。

■年齢別人口

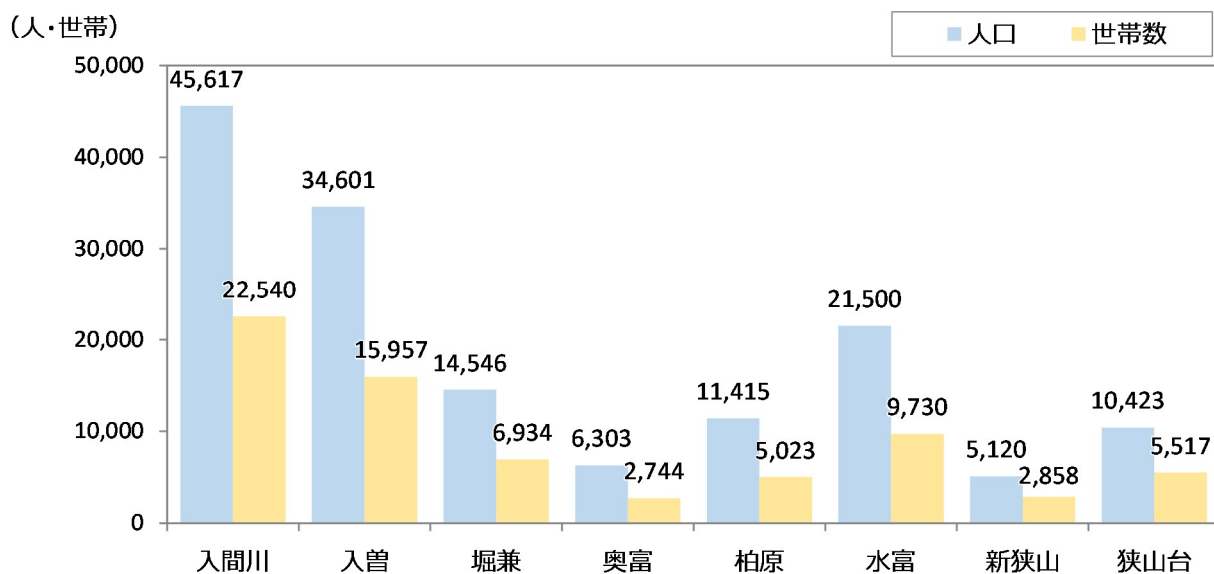


資料：住民基本台帳（令和4年1月1日現在）

(4) 地区別人口と世帯数

令和4年9月1日現在の地区別人口を見ると、入間川地区が約45,600人と最も多く、次いで、入曽地区が約34,600人となっている。世帯数も同様に、入間川地区が約22,500世帯と最も多く、次いで、入曽地区が約16,000世帯となっています。

■地区別人口と世帯数



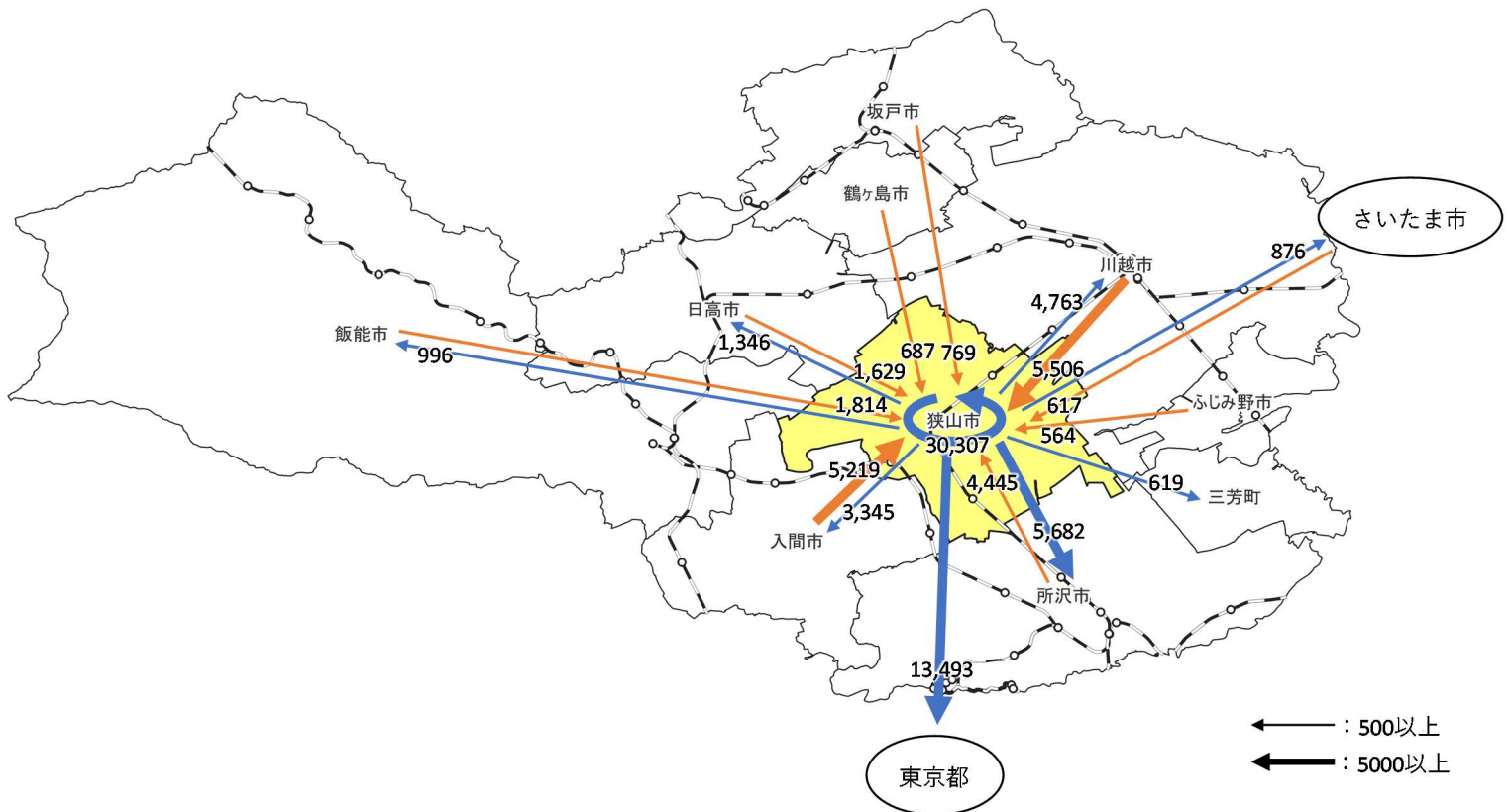
資料：狭山市（令和4年9月1日現在）

1.1.2 人の動き

(1) 通勤目的の人の動き

狭山市内の移動（30,307人）が多い一方で、入間市や川越市、所沢市、日高市、さいたま市などの周辺市町と狭山市との移動も見られます。また、東京都への長距離トリップも見られます。狭山市から周辺市町への移動（20,945人）よりも、周辺市町から狭山市への移動（24,307人）が多く見られます。

■通勤目的における人の動き

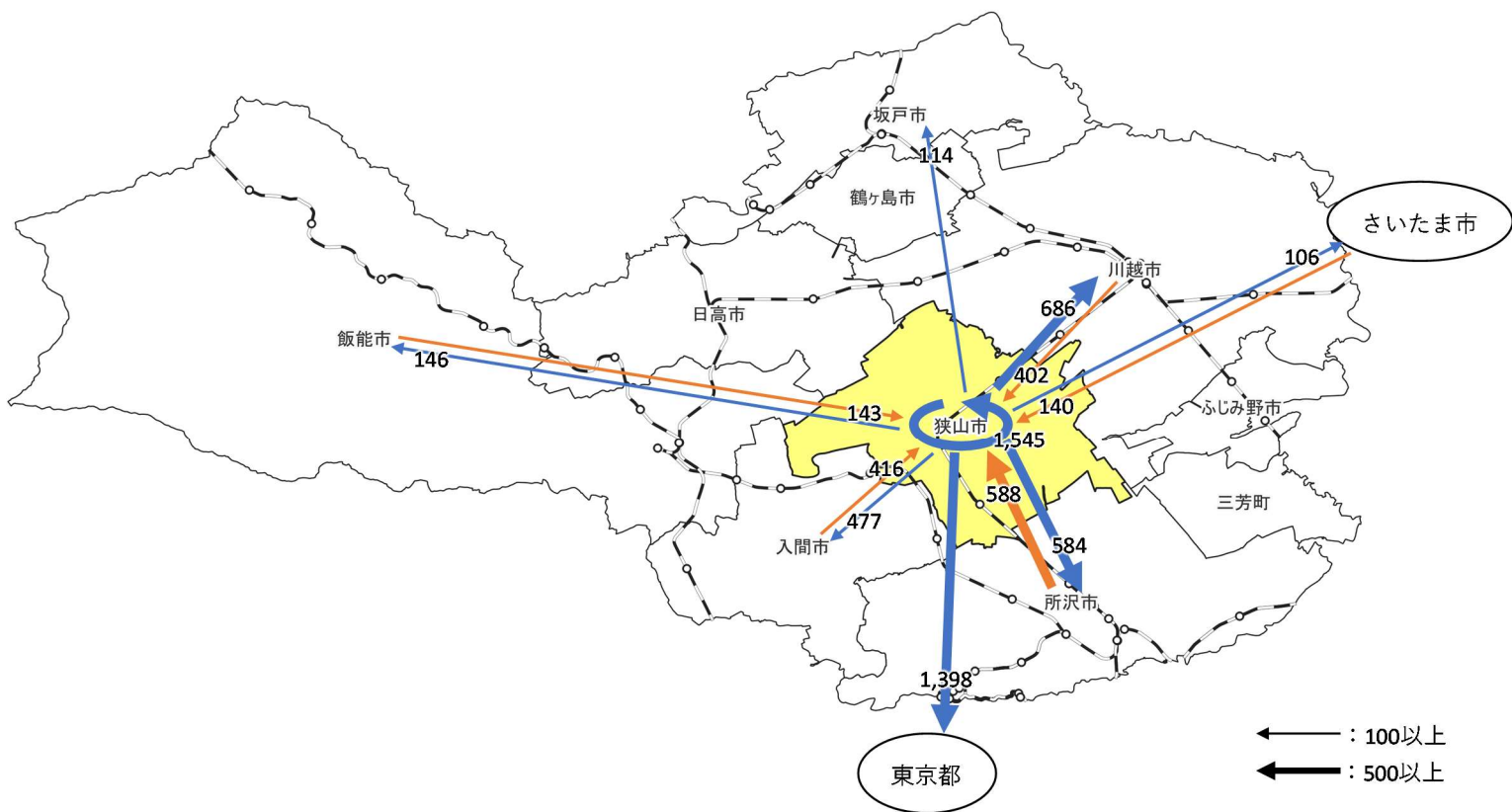


資料：国勢調査（令和2年）

(2) 通学目的の人の動き

狭山市内の移動（1,545 人）が多い一方で、所沢市や川越市、入間市、飯能市などの周辺市町と狭山市との間の移動が見られます。狭山市から周辺市町への移動（2,514 人）よりも、周辺市町から狭山市への移動（2,617 人）が多く見られます。

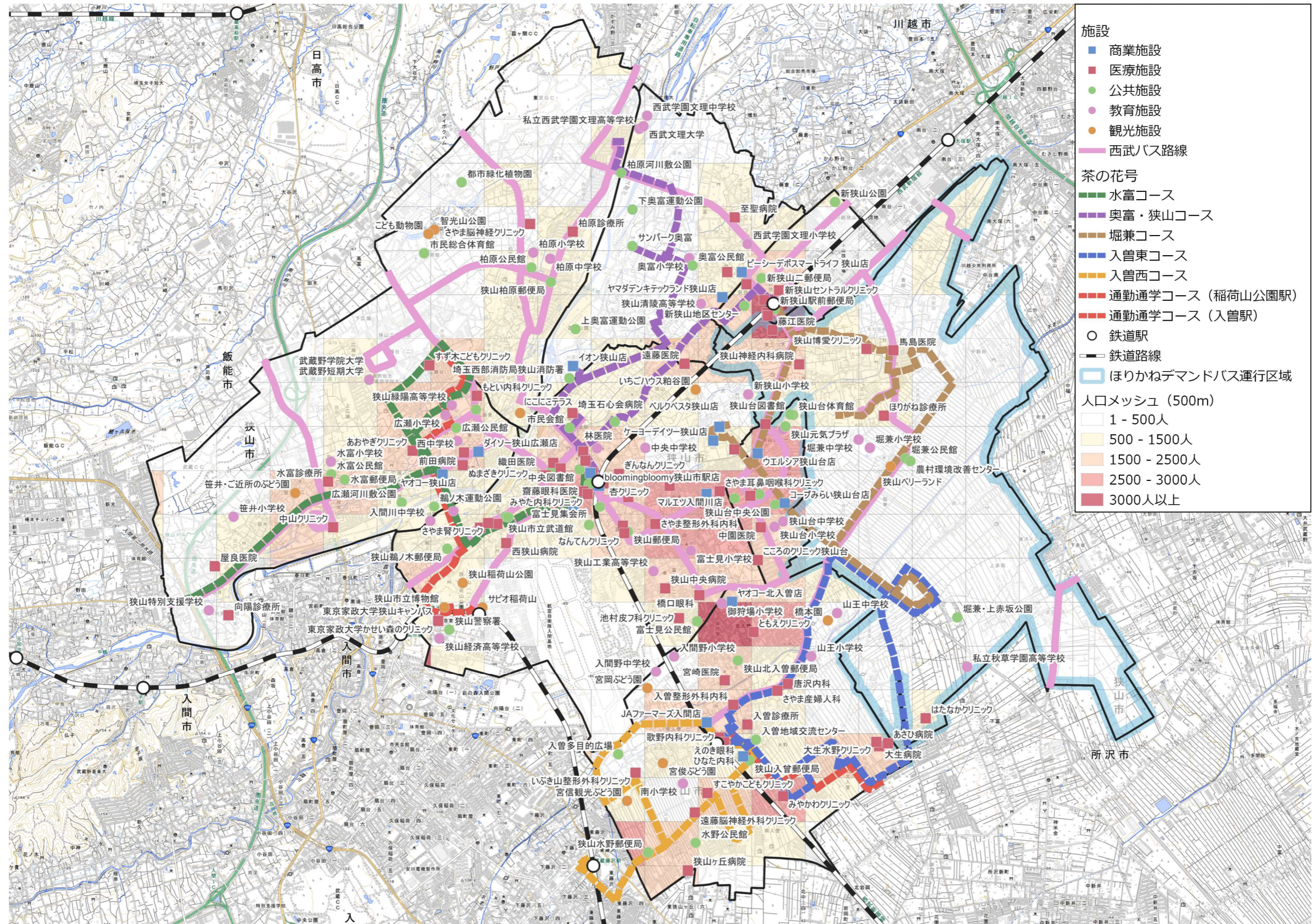
■通学目的における人の動き



資料：国勢調査（令和2年）

1.1.3 人口分布と主要施設の立地状況

(1) 概観



施設

- 商業施設
- 医療施設
- 公共施設
- 教育施設
- 観光施設
- 西武バス路線

茶の花号

- 水富コース
- 奥富・狭山コース
- 堀兼コース
- 入曽東コース
- 入曽西コース
- 通勤通学コース（稲荷山公園駅）
- 通勤通学コース（入曽駅）

○ 鉄道駅
 — 鉄道路線
 □ ほりかねデマンドバス運行区域

人口メッシュ（500m）

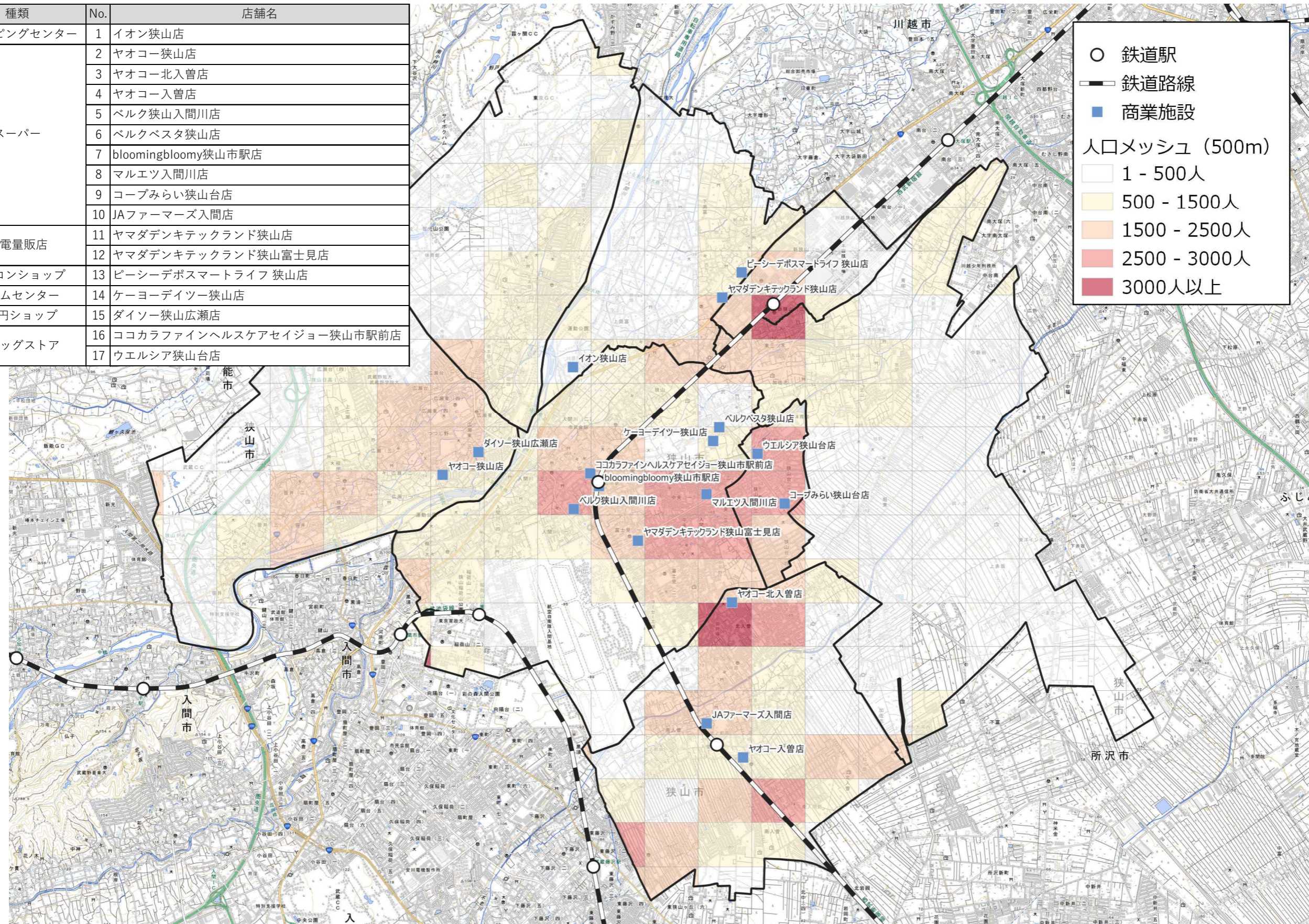
- 1 - 500人
- 500 - 1500人
- 1500 - 2500人
- 2500 - 3000人
- 3000人以上

■施設等の立地状況（令和4年4月1日現在）

(2) 主な商業施設

商業施設は、入間川地区に多く立地しています。

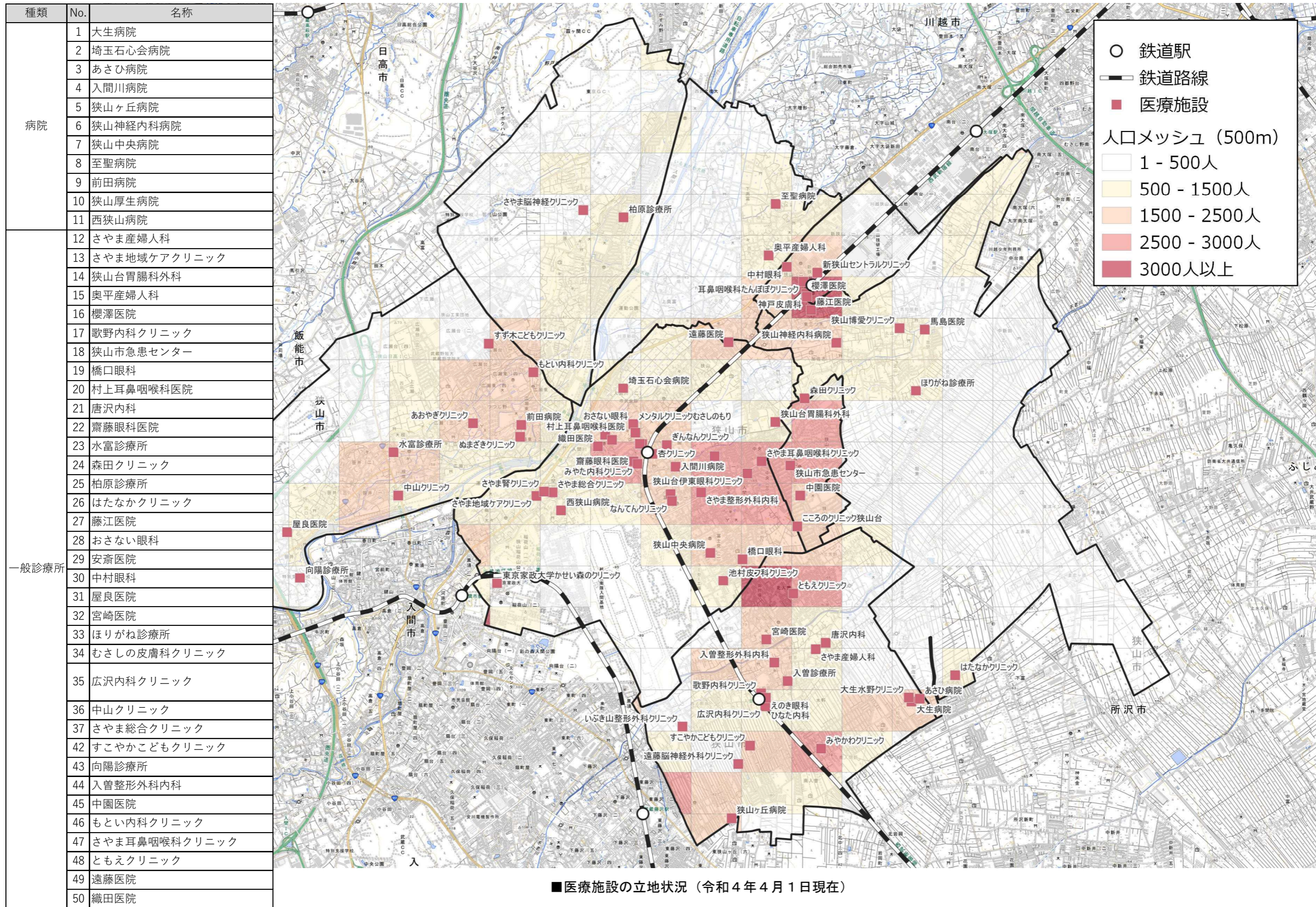
| 種類 | No. | 店舗名 |
|------------|-------|--------------------------|
| ショッピングセンター | 1 | イオン狭山店 |
| スーパー | 2 | ヤオコー狭山店 |
| | 3 | ヤオコー北入曽店 |
| | 4 | ヤオコー入曽店 |
| | 5 | ベルク狭山入間川店 |
| | 6 | ベルクベスタ狭山店 |
| | 7 | bloomingbloomy狭山市駅前店 |
| | 8 | マルエツ入間川店 |
| | 9 | コープみらい狭山台店 |
| | 10 | JAファーマーズ入間店 |
| | 家電量販店 | 11 |
| 12 | | ヤマダデンキテックランド狭山富士見店 |
| パソコンショップ | 13 | ピーシーデポスマートライフ 狭山店 |
| ホームセンター | 14 | ケーヨーデイツー狭山店 |
| 100円ショップ | 15 | ダイソー狭山広瀬店 |
| ドラッグストア | 16 | ココカラファインヘルスケアセイジョー狭山市駅前店 |
| | 17 | ウエルシア狭山台店 |



■商業施設の立地状況 (令和4年4月1日現在)

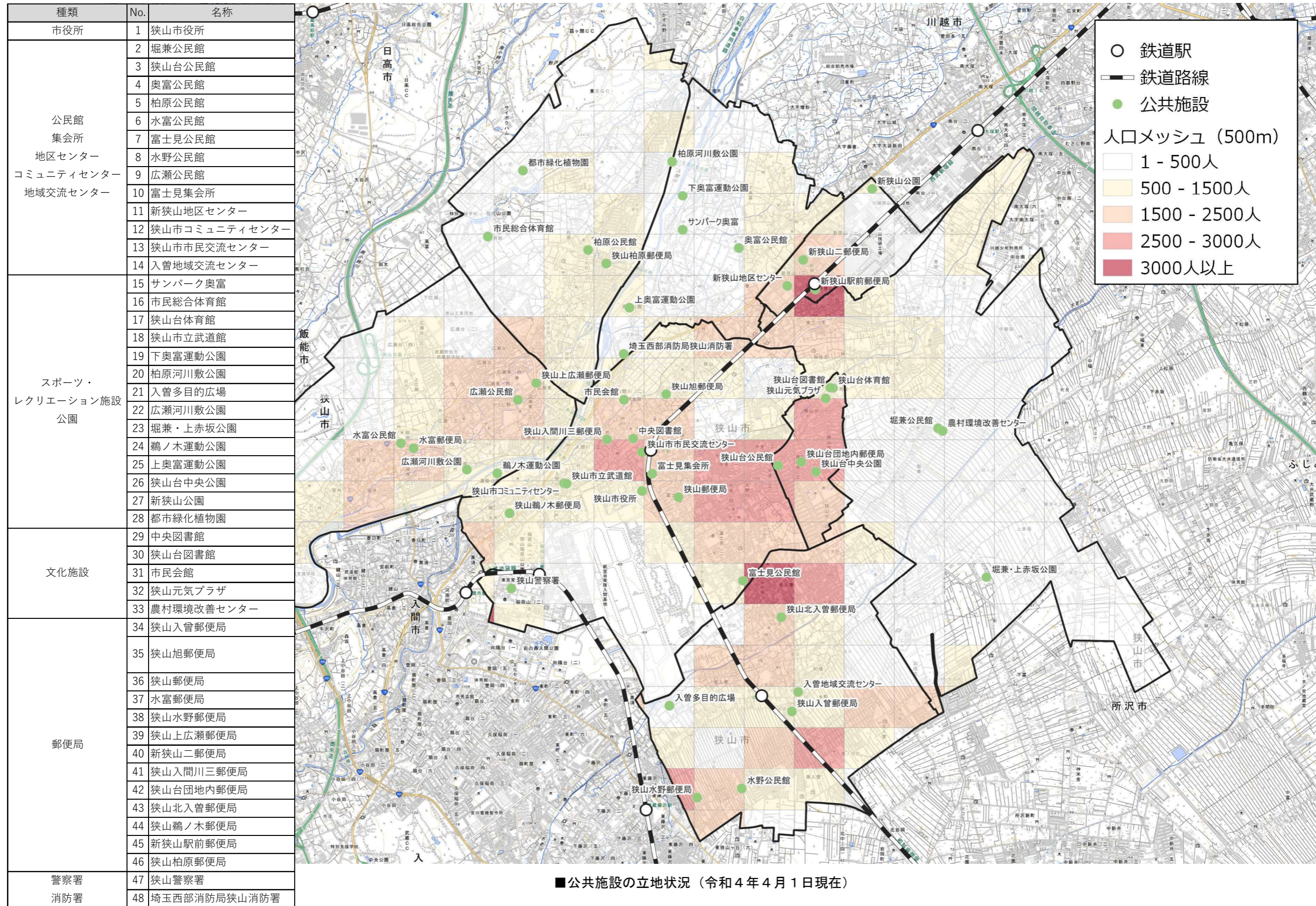
(3) 主な医療施設

医療施設は、入間川地区、入曽地区に多く立地しています。



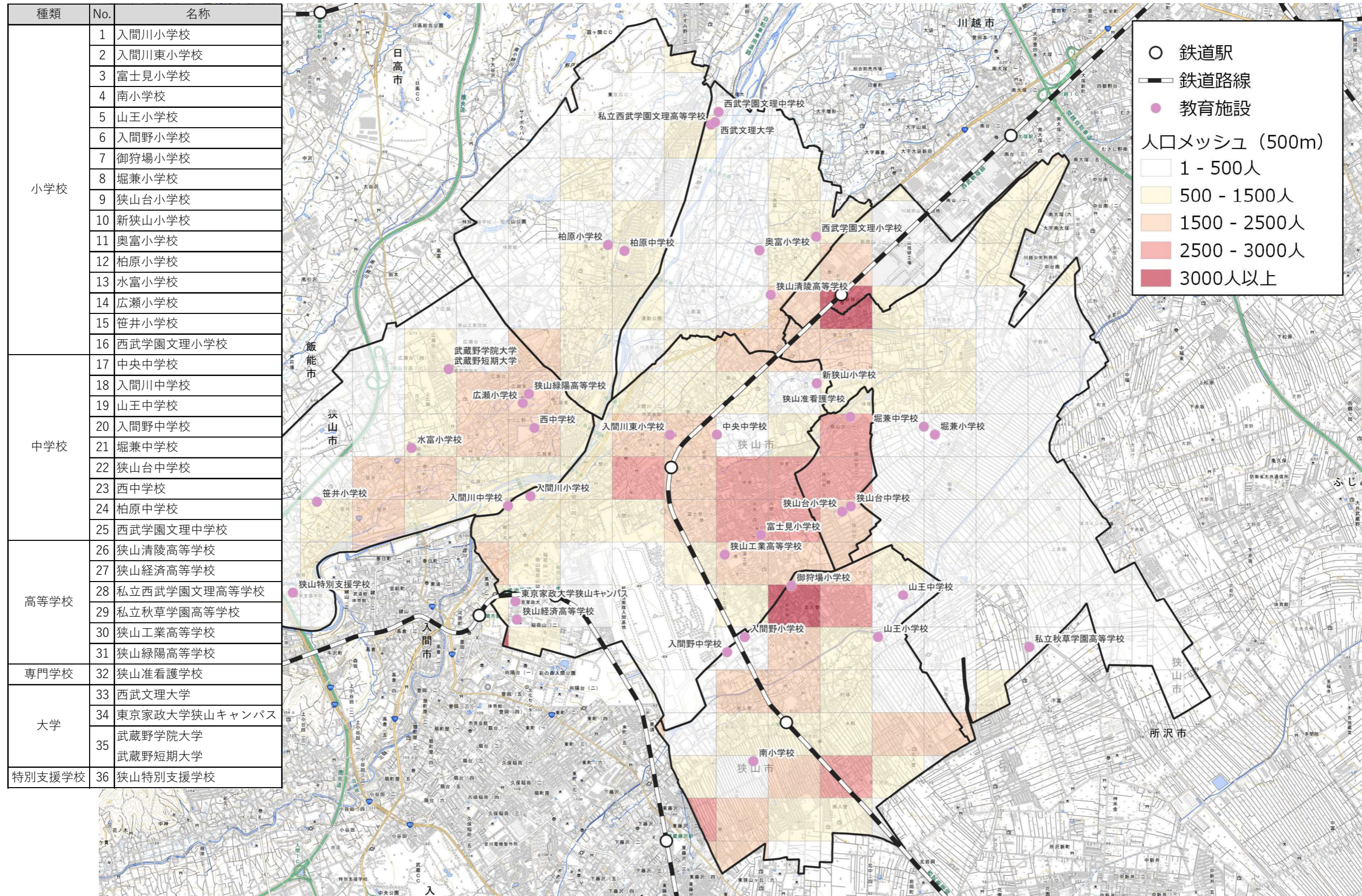
(4) 主な公共施設

公共施設は、各地区に立地しており、特に入間川地区に多く立地しています。



(5) 主な教育施設

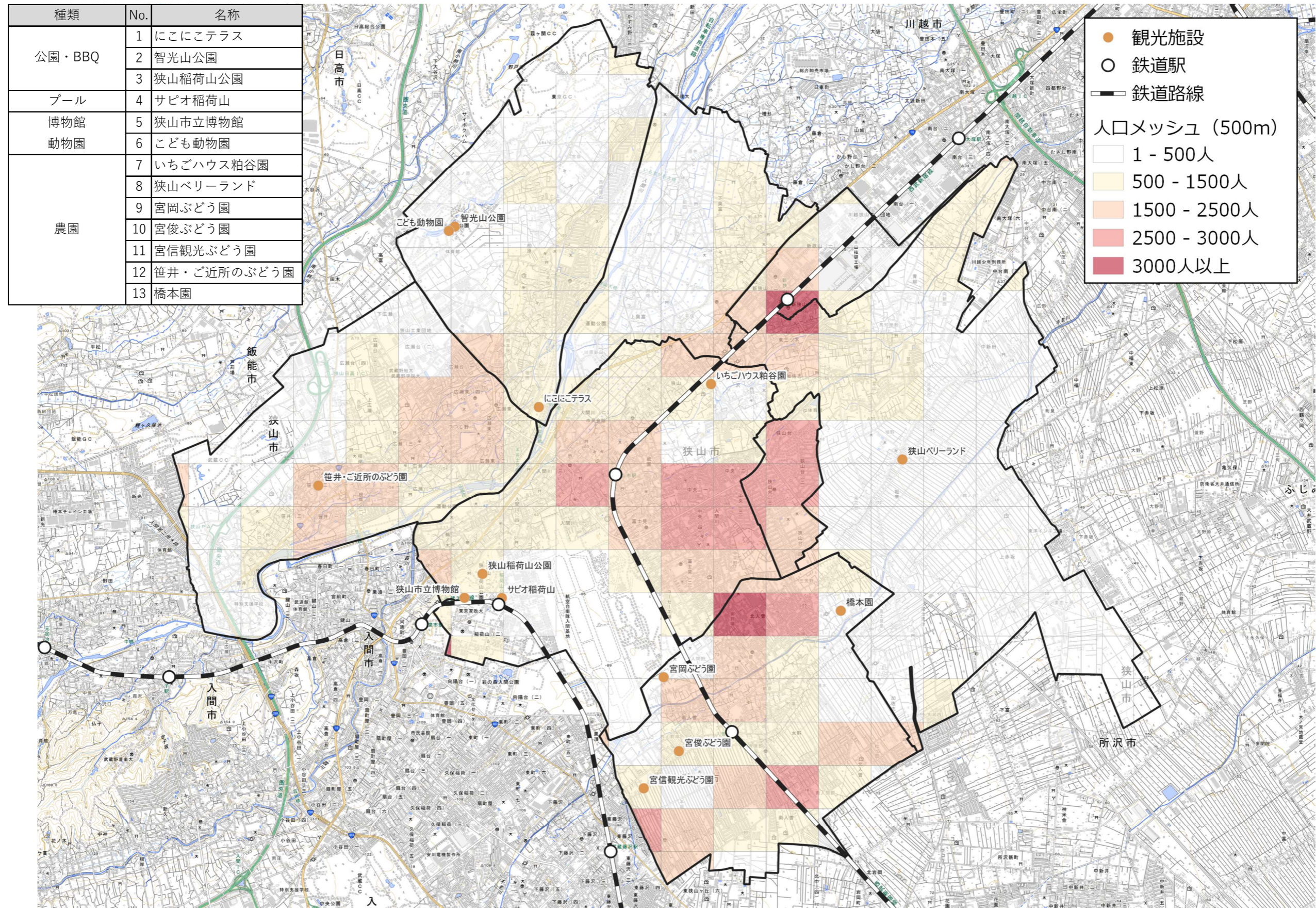
小中学校は、新狭山地区を除いた各地区に立地しており、高等学校や大学は奥富地区、入間川地区に比較的多く立地しています。



■教育施設の立地状況（令和4年4月1日現在）

(6) 主な観光施設

観光施設は、柏原地区、入間川地区、入曽地区に比較的多く立地しています。



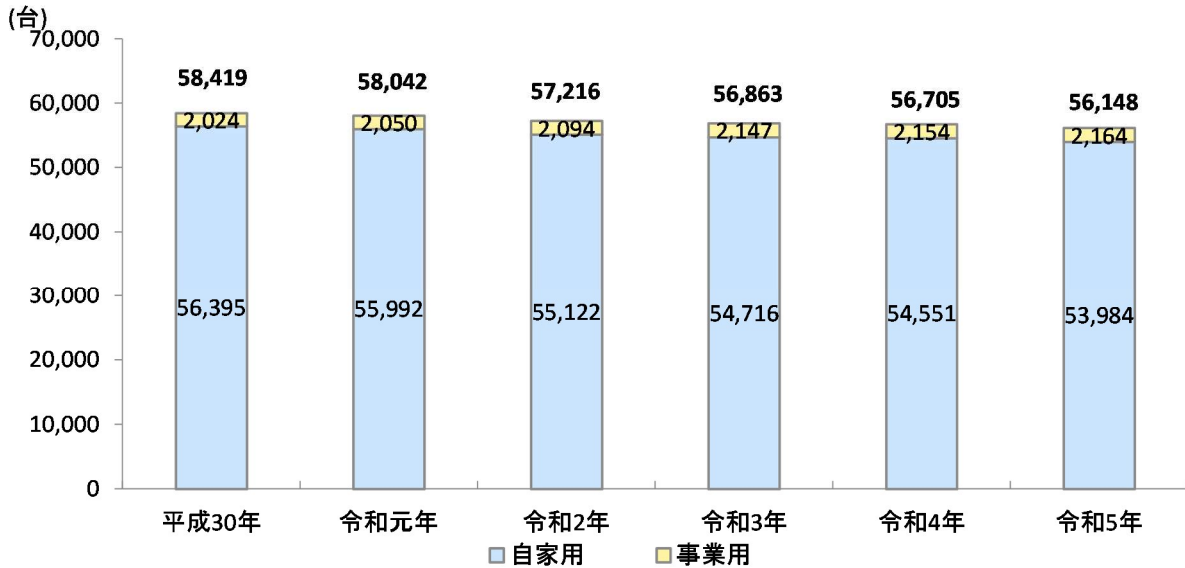
■観光施設の立地状況 (令和4年4月1日現在)

1.1.4 自動車保有状況

自家用車の保有台数は、令和5年3月末現在で約56,100台となっています。

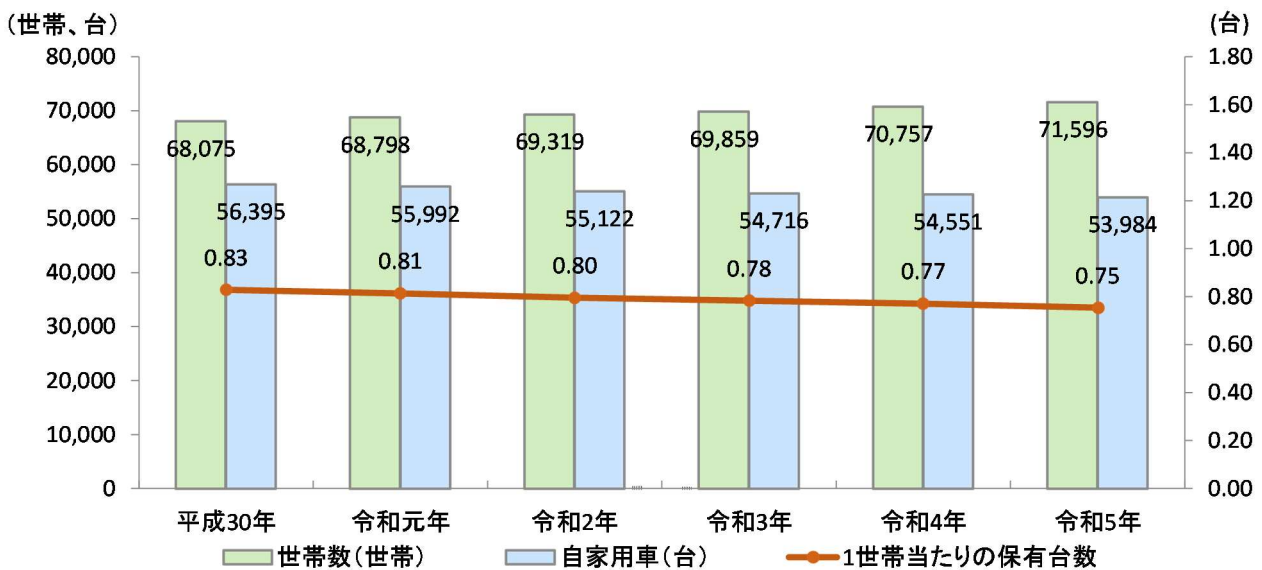
1世帯当たりの自家用車保有台数は、令和5年3月末現在で約0.8台となっています。

■自動車保有状況の推移



資料：関東運輸局統計情報
各年3月末現在

■1世帯当たりの自家用車保有台数の推移



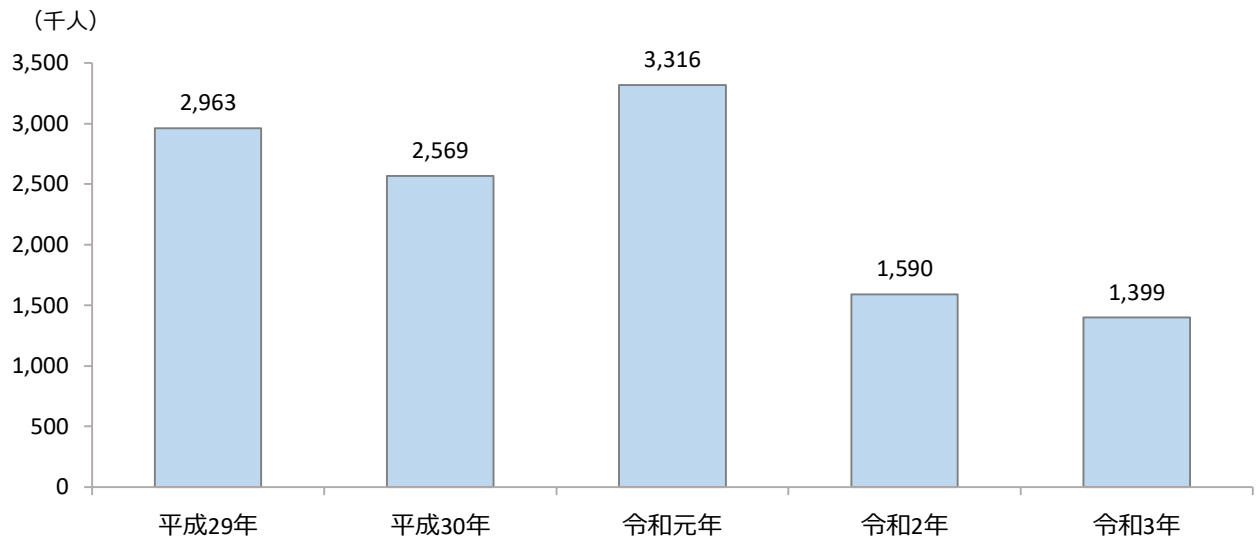
資料：関東運輸局統計情報
各年3月末現在

1.1.5 観光来訪者

観光入込客数の推移を見ると、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、令和2年以降は減少傾向となっています。

目的別には、入間川七夕まつりや入間航空祭などのイベントのほか、あぐれっしゅげんき村、狭山市立智光山公園こども動物園、智光山公園テニスコート、稻荷山公園、圏央道狭山パーキングエリアなどの利用が多く見られます。

■狭山市の観光入込客数の推移



1.2 地域公共交通の現状

1.2.1 既存の地域公共交通網

鉄道は西武鉄道新宿線が運行しており、狭山市駅、入曽駅、新狭山駅、稲荷山公園駅の4駅があります。

路線バスは、狭山市駅を中心として、各地域に向けて放射状に、西武バスが運行しており、市内だけでなく、市内外に対して広域的に交通サービスを提供しています。

タクシーは、4事業者が市内鉄道駅に乗り入れています。

市内循環バス「茶の花号」は、狭山市駅、入曽駅、新狭山駅を起点として、各地区内を循環するコミュニティバスとして運行しています。

ほりかねデマンドバスは、交通不便地域の移動手段確保、高齢者等の交通弱者の移動手段確保を目的に、堀兼地区全域をカバーするデマンド交通として、令和4年10月から実証運行を開始しています。

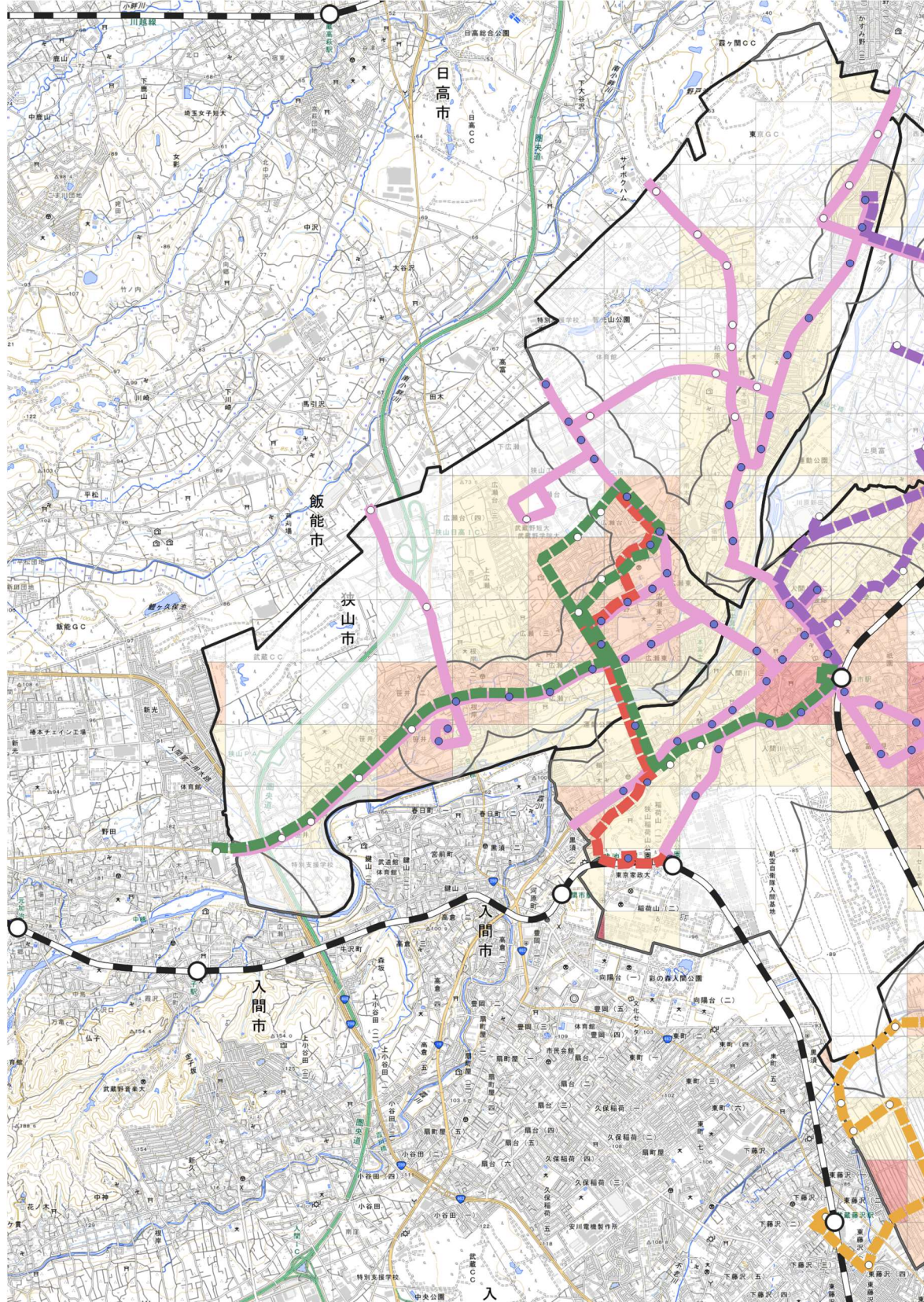
また、市内の2つの病院にご協力いただき、高齢者の移動手段を確保する目的で、病院が運行している送迎バスの空席を活用した高齢者外出支援事業を実施しています。

その他、施設による送迎サービス事業などが運行されています。

1.2.2 地域公共交通カバー圏域

鉄道及びバス交通（ほりかねデマンドバスは除く）が利用可能な人口は約 124,600 人であり、全人口の約 30% のカバー圏域人口を算出。その場合、カバー圏域を鉄道については駅から徒歩 1,000m以内、バス交通につ

■人口メッシュと公共交通の運行状況

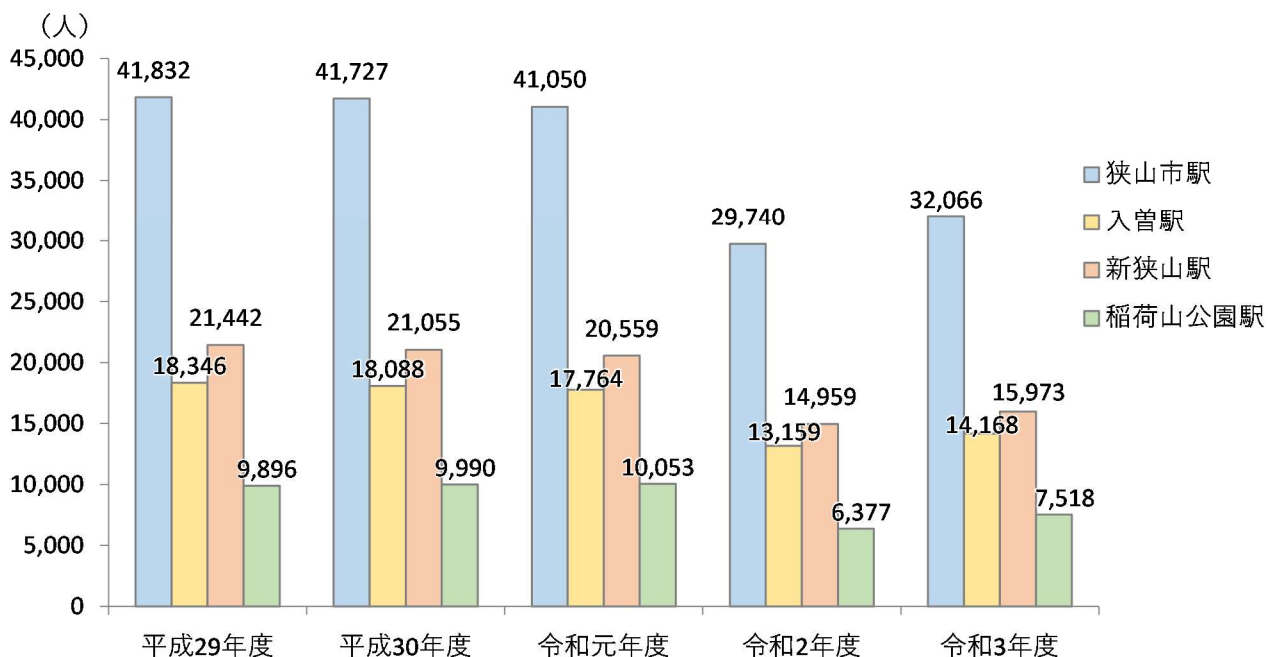


1.2.3 地域公共交通の状況

(1) 鉄道

令和3年度の1日平均乗車人員は、狭山市駅が最も多く 32,066 人、次いで、新狭山駅が 15,973 人となっています。

■鉄道駅別1日平均乗車人員

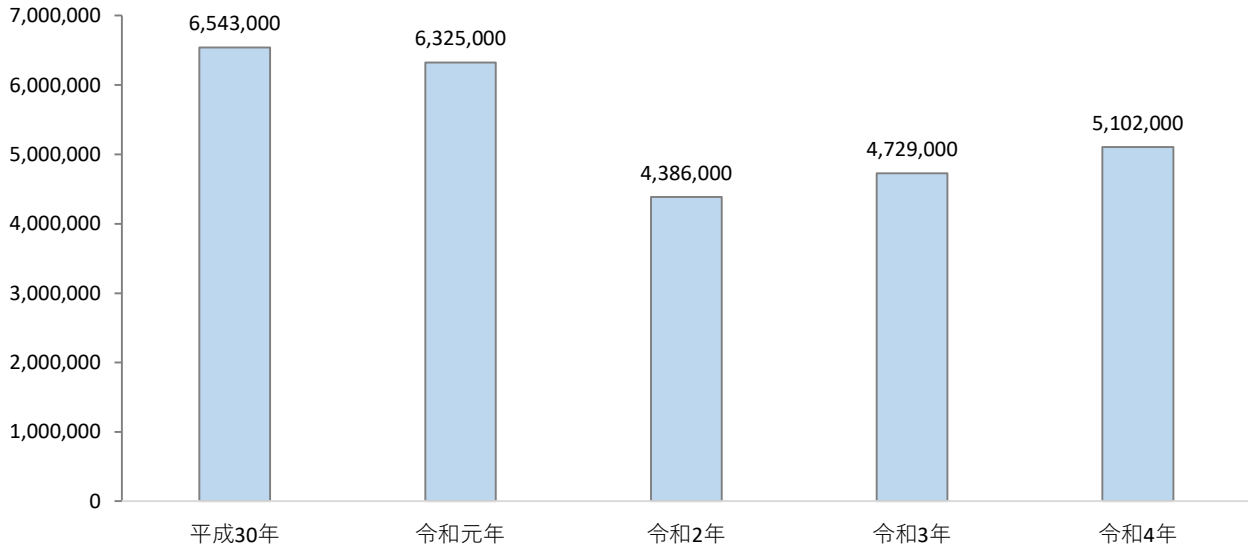


資料：西武鉄道（株）

(2) 路線バス

狭山市内を運行する路線バスの令和4年の年間輸送人員は、令和2年に新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で大きく減少したものの、令和3年、令和4年と回復傾向にあり、令和4年は約510万人となっています。

■年度別輸送人員の推移



資料：西武バス（株）

■年度別・路線別輸送人員の推移

路線バス年度別・路線別輸送人員の推移

| 運行区間 | | | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 対前年比 |
|--------|----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|
| 起点 | 経由地 | 終点 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | (R4/R3) |
| 新所沢駅東口 | | 西武フラワーヒル | 420,000 | 409,000 | 271,000 | 281,000 | 299,000 | 106.4% |
| 狭山市駅東口 | 西武狭山台ハイツ | 狭山台団地 | 1,123,000 | 1,070,000 | 727,000 | 735,000 | 793,000 | 107.9% |
| 狭山市駅東口 | 狭山台南 | 狭山台団地 | 1,121,000 | 1,104,000 | 766,000 | 836,000 | 905,000 | 108.3% |
| 新狭山駅南口 | 新狭山ハイツ | 入曽駅 | 89,000 | 83,000 | 59,000 | 63,000 | 67,000 | 106.3% |
| 川越駅西口 | | 新狭山駅南口 | 419,000 | 414,000 | 323,000 | 357,000 | 409,000 | 114.6% |
| 新狭山駅北口 | | 笠幡駅 | 219,000 | 208,000 | 121,000 | 114,000 | 97,000 | 85.1% |
| 狭山市駅西口 | | 西武柏原ニュータウン | 674,000 | 639,000 | 414,000 | 482,000 | 532,000 | 110.4% |
| 狭山市駅西口 | | 稲荷山公園駅 | 268,000 | 251,000 | 167,000 | 175,000 | 195,000 | 111.4% |
| 狭山市駅西口 | | サイボク | 109,000 | 104,000 | 73,000 | 85,000 | 96,000 | 112.9% |
| 狭山市駅西口 | | 日生団地 | 1,196,000 | 1,177,000 | 830,000 | 936,000 | 1,001,000 | 106.9% |
| 狭山市駅西口 | | 西武グリーンハイツ | 310,000 | 299,000 | 216,000 | 228,000 | 248,000 | 108.8% |
| 飯能駅北口 | 下川崎 | 狭山市駅西口 | 3,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 1,000 | 50.0% |
| 飯能駅北口 | 笹井 | 狭山市駅西口 | 16,000 | 13,000 | 10,000 | 6,000 | 1,000 | 16.7% |
| 入間市駅 | | 狭山市駅西口 | 576,000 | 552,000 | 407,000 | 429,000 | 458,000 | 106.8% |
| 合計 | | | 6,543,000 | 6,325,000 | 4,386,000 | 4,729,000 | 5,102,000 | 107.9% |

(3) 茶の花号

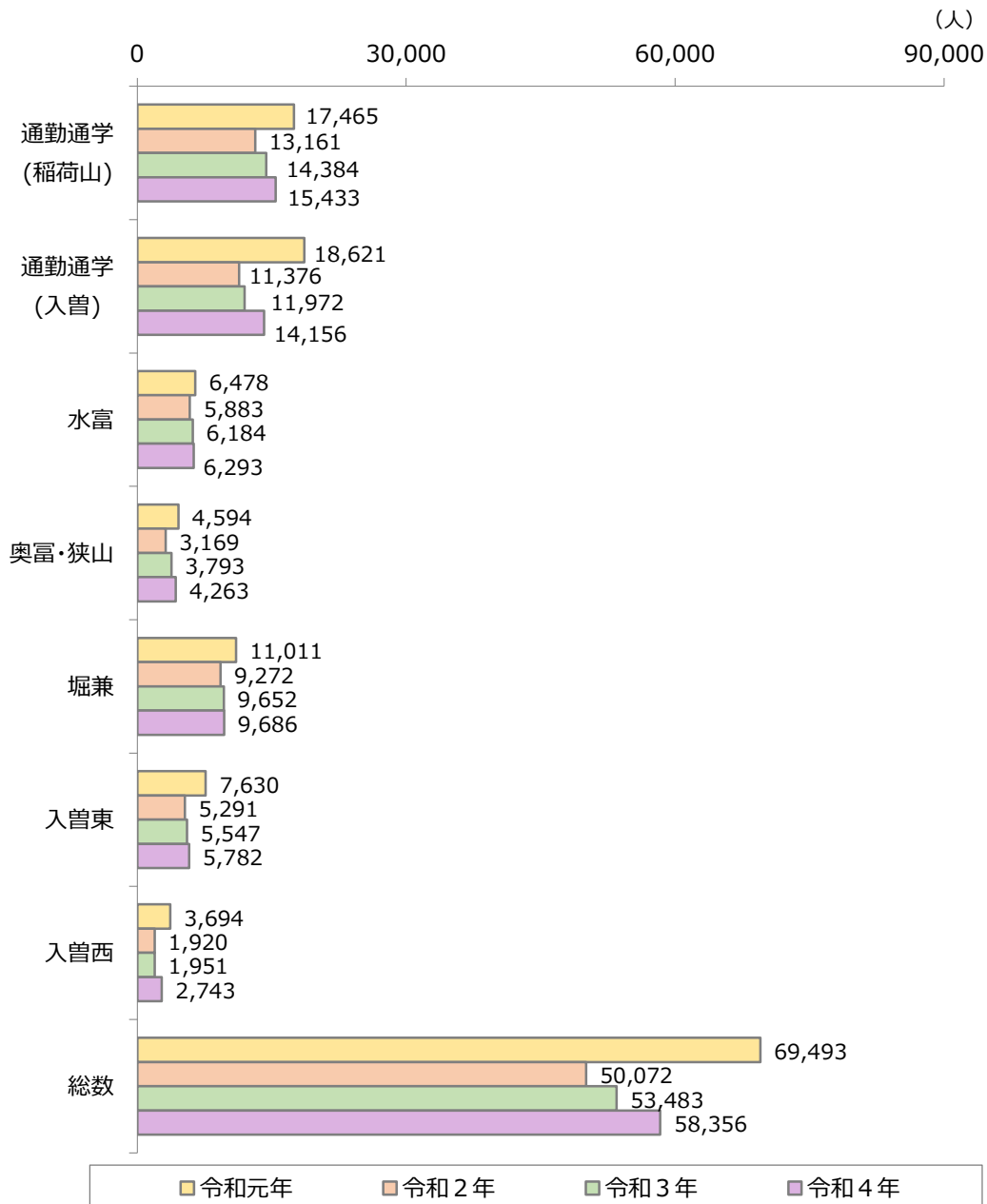
市内循環バス「茶の花号」の令和4年の年間輸送人員は、令和2年に新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で大きく減少したものの、令和3年、令和4年と回復傾向にあり、令和4年は約5.8万人となっています。

令和4年の1便あたりの輸送人員は、全体で3.4人/便となっています。

■ 茶の花号の年度別輸送実績

(単位：人)

| | 通勤通学 (稻荷山) | 通勤通学 (入曽) | 水富 | 奥富・狭山 | 堀兼 | 入曽東 | 入曽西 | 総数 |
|------|---------------|--------------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|
| 令和元年 | 17,465 | 18,621 | 6,478 | 4,594 | 11,011 | 7,630 | 3,694 | 69,493 |
| 令和2年 | 13,161 | 11,376 | 5,883 | 3,169 | 9,272 | 5,291 | 1,920 | 50,072 |
| 令和3年 | 14,384 | 11,972 | 6,184 | 3,793 | 9,652 | 5,547 | 1,951 | 53,483 |
| 令和4年 | 15,433 | 14,156 | 6,293 | 4,263 | 9,686 | 5,782 | 2,743 | 58,356 |

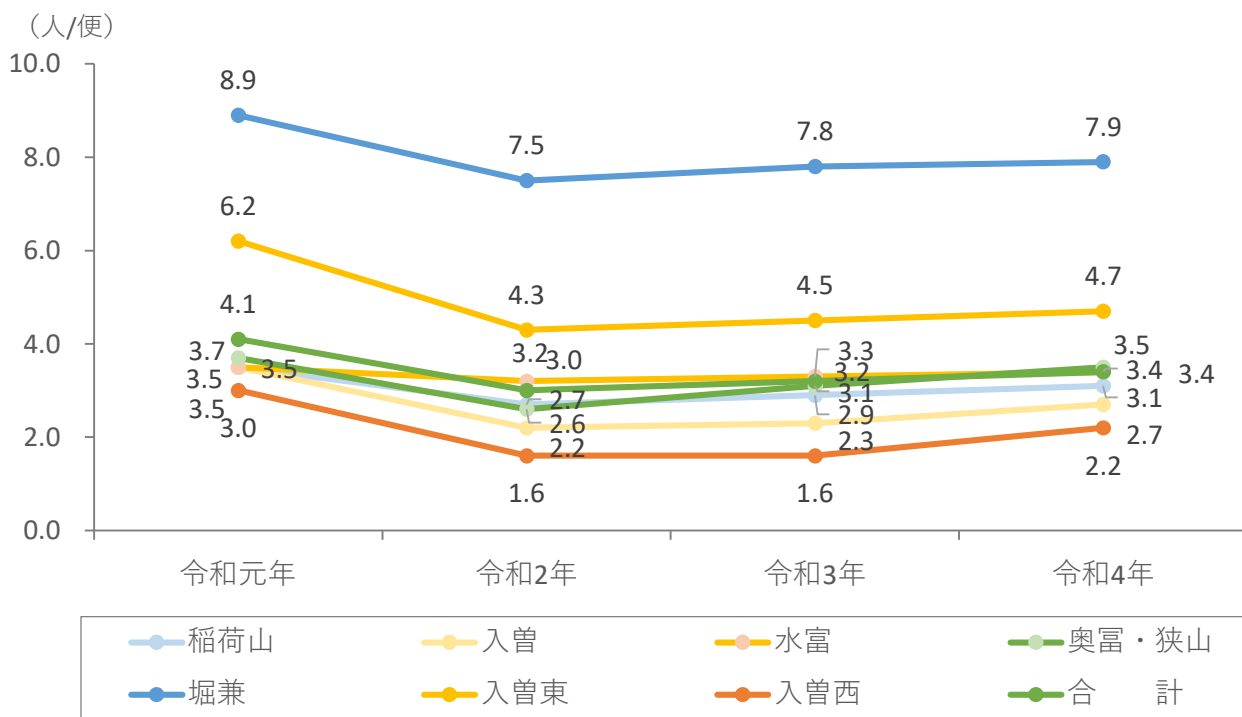


資料：狭山市

■年度別・ルート別1便当たり輸送人員

単位：(人/便)

| | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 |
|-------|------|------|------|------|
| 稲荷山 | 3.5 | 2.7 | 2.9 | 3.1 |
| 入曽 | 3.5 | 2.2 | 2.3 | 2.7 |
| 水富 | 3.5 | 3.2 | 3.3 | 3.4 |
| 奥富・狭山 | 3.7 | 2.6 | 3.1 | 3.5 |
| 堀兼 | 8.9 | 7.5 | 7.8 | 7.9 |
| 入曽東 | 6.2 | 4.3 | 4.5 | 4.7 |
| 入曽西 | 3.0 | 1.6 | 1.6 | 2.2 |
| 合計 | 4.1 | 3.0 | 3.2 | 3.4 |



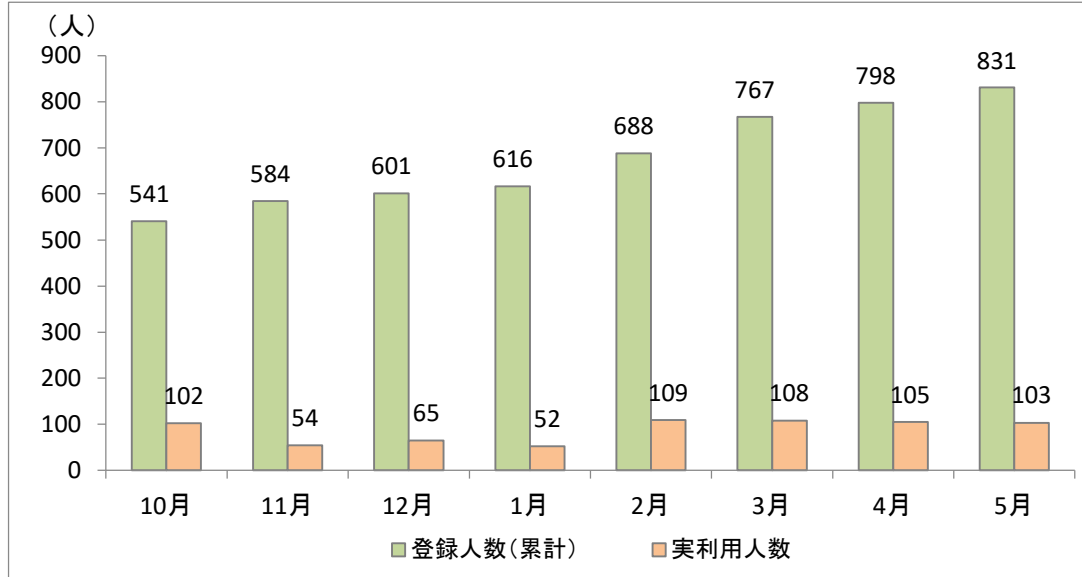
資料：狭山市

(4) ほりかねデマンドバス

令和4年10月から実証運行を開始したほりかねデマンドバスは、令和5年5月末現在で、登録人数が831人となっています。

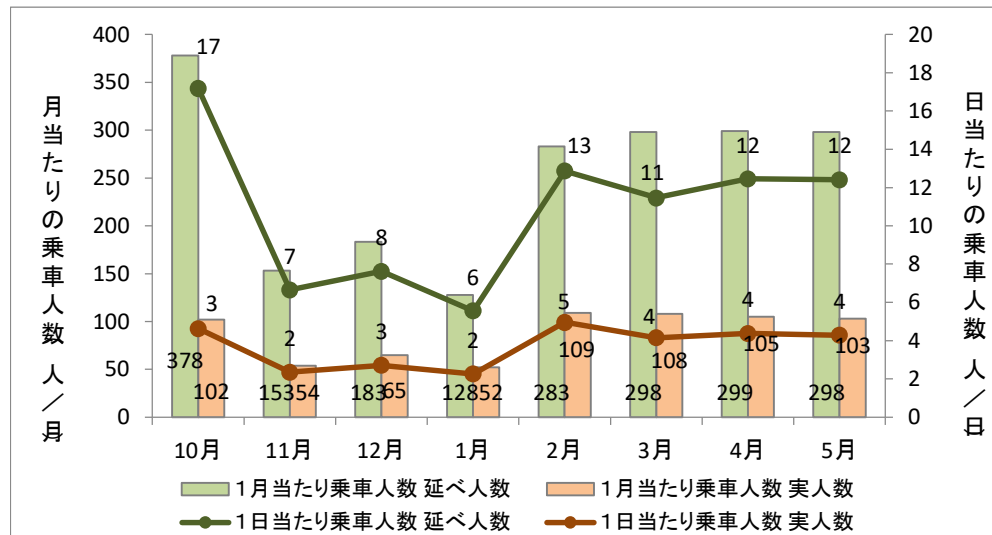
延べ利用人数と実利用人数は、令和5年5月末現在で、延べ利用人数が298人/月、実利用人数が103人/月となっています。

■ほりかねデマンドバスの月別登録人数と実利用人数



資料：狭山市

■ほりかねデマンドバスの月別利用人数（延べ利用人数と実利用人数）

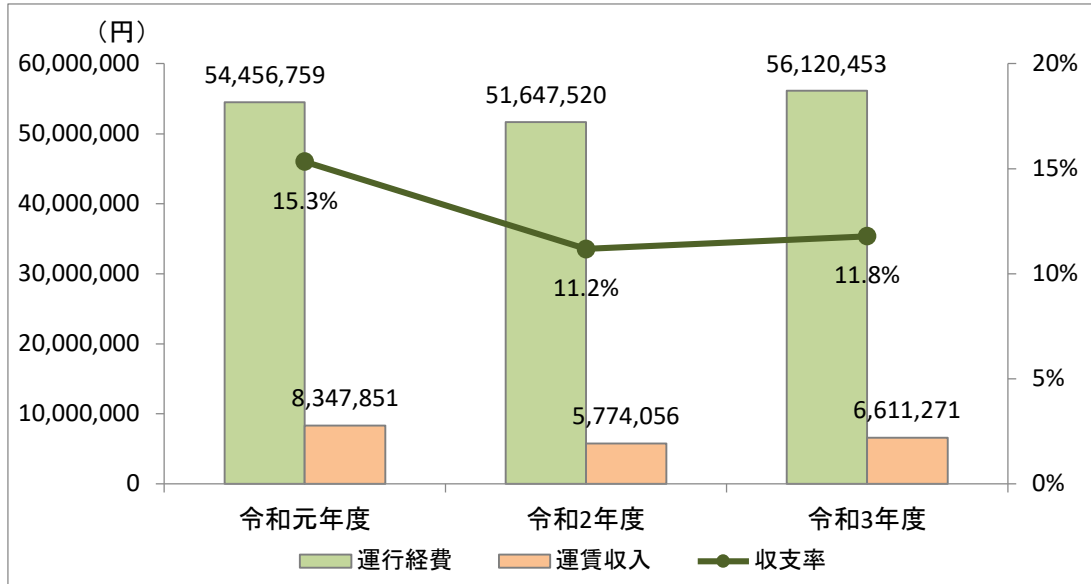


資料：狭山市

1.2.4 地域公共交通に係る市負担額

現在、市内循環バス「茶の花号」を維持するため、年間で約5千万円程度の負担額が発生しています。なお、負担額のうち約4割については、国の特別交付税が交付されています。

■市内循環バス「茶の花号」の維持に係る市負担額の推移

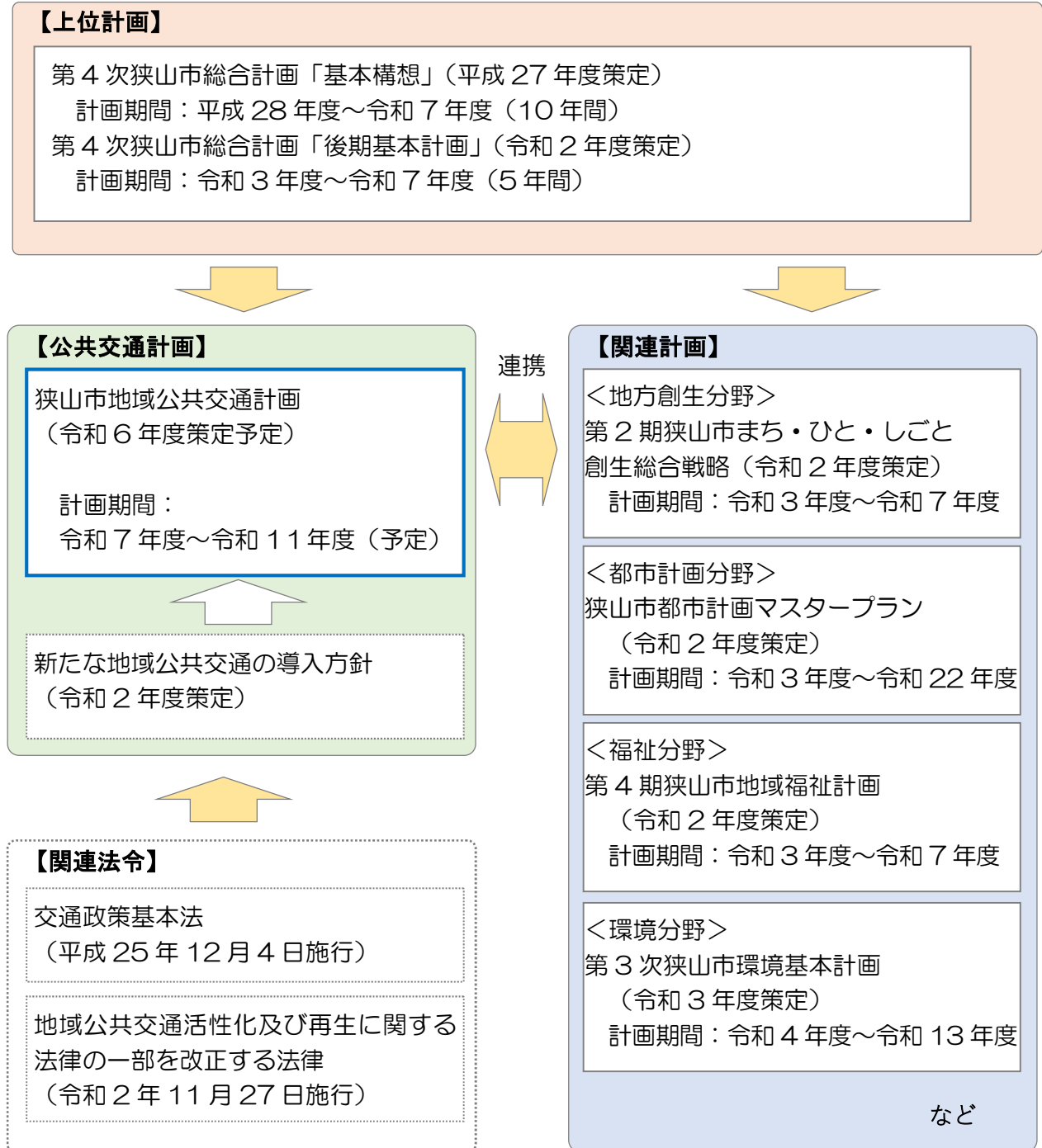


資料：狭山市

1.3 上位・関連計画における公共交通の位置づけ

本市の公共交通に係わる上位関連計画の位置づけ、施策・プロジェクトを整理し、政策連携を検討する上での基礎資料としました。整理した計画は次のとおりとなります。

各計画、施策・プロジェクトとの整合を図り、まちづくりと連携した施策・事業推進を検討します。



1.4 地域の現状から見える問題点・課題の整理（現時点）

狭山市の地域公共交通における現状及び問題点・課題は以下のとおりです。

人口動態に関する分析

- 令和4年1月の人口は約149,700人で今後も人口減少は続く見込みとなっており、令和27年には人口は約113,400人まで減少することが見込まれています。一方で、75歳以上の人口は増加していくことが見込まれており、移動手段の確保が必要となる交通弱者は増加していくことが推測されます。
- ⇒高齢者などの交通弱者が利用しやすい移動手段の確保に向けた検討が必要となります。

人の動きに関する分析

- 通勤目的と通学目的で若干の違いは見られるものの、狭山市内の移動だけでなく、市外への移動も見られます。一方で、市外から市内への流入も見られます。
- ⇒市内の地区間（入間川地区、入曽地区、堀兼地区、奥富地区、柏原地区、水富地区、新狭山地区、狭山台地区）における移動だけでなく、市外への移動や市外からの移動に対応した公共交通網の検討が必要となります。

人口及び主要施設の分布に関する分析

- 人口は、狭山市駅を中心とした市街地部に集積しているものの、郊外部にも居住が見られます。商業施設、医療施設、公共施設、教育施設は、市街地部周辺に多く立地しています。また、各地区で実情が一部異なるものの、地区センターなどの地区中心部付近にも立地しています。
- ⇒市内の各地区から市街地部へのアクセス確保、各地区内の地区センターなどの地区中心部付近へのアクセス確保が必要となります。

まちづくりに関する分析

- 総合計画や都市計画マスタープランでは、地域特性に応じた拠点の形成を図ることとしており、中枢拠点や地域拠点などの位置づけを行っています。また、拠点間をつなぐ交通ネットワークについて、コンパクト・プラス・ネットワークによる持続可能な都市構造を構築する方針を示しています。また、鉄道やバスの利便性向上を示すとともに、新たな公共交通等の推進や地域コミュニティ交通の導入を示しており、利用しやすい公共交通網の確立を目指す考え方を示しています。
- ⇒拠点間ネットワークなど、まちづくりと連携した地域公共交通網の検討が必要となります。

地域公共交通の利用状況に関する分析

- 鉄道及びバス交通（ほりかねデマンドバスは除く）が利用可能な人口は約124,600人であり、全人口の約83%となっています。一部の地域は、公共交通のサービスが行き届かない交通不便地域が存在します。
 - 西武新宿線が運行しており、鉄道駅が市内に4駅整備されています。路線バスは狭山市駅を中心として市内外に広域に運行しています。
 - 市内循環バス「茶の花号」は、鉄道駅を起点として、各地区内を循環して運行しており、堀兼地区では実証運行として、ほりかねデマンドバスを運行しています。
 - 広域の移動を担う役割が、鉄道及び路線バス、地域間及び地域内の移動を担う役割が、路線バス、市内循環バス「茶の花号」、ほりかねデマンドバスとなっています。
 - 狭山市駅が1日あたり約32,000人の利用となっており、本市の重要な交通結節点となっています。
 - 市内循環バス「茶の花号」は1便あたりの利用者数が3.4人となっています。
 - 市内循環バス「茶の花号」を維持するため、コストが発生しています。
- ⇒ほりかねデマンドバスの評価検証を踏まえながら、鉄道、路線バス、市内循環バス「茶の花号」、ほりかねデマンドバス、タクシーとの役割分担に加えて、新たな公共交通の導入検討なども行い、持続可能で最適な地域公共交通網の検討が必要となります。

市民の日常生活における移動状況、公共交通に対するニーズ、関係者の意向など

- 今後、市民アンケート調査、関係者ヒアリング調査などを通じて、把握していきます。
- また、関係者ヒアリング調査等を通じて、必要となる現況データ等を追加していきます。

地域公共交通計画策定スケジュール

| | |
|--------------------|--|
| 第1回（令和5年4月） | <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画の策定について |
| 第2回 （令和5年7月26日） | <ul style="list-style-type: none"> ・地域及び公共交通の現況整理結果の報告 ・地域公共交通を取り巻く課題の中間報告 |
| 第3回（令和5年12月） | <ul style="list-style-type: none"> ・各種調査結果の報告 ・地域公共交通を取り巻く課題の報告 ・狭山市地域公共交通の方向性の協議 |
| 第4回（令和6年3月） | <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画の基本方針等及び施策体系の協議 |
| 第5回（令和6年6月） | <ul style="list-style-type: none"> ・狭山市地域公共交通計画の骨子案の協議 |
| 第6回（令和6年8月） | <ul style="list-style-type: none"> ・狭山市地域公共交通計画の素案の協議 |
| 第7回（令和6年12月） | <ul style="list-style-type: none"> ・狭山市地域公共交通計画の素案の協議 |
| 第8回（令和6年3月） | <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの実施結果の報告 ・狭山市地域公共交通計画骨子案の協議 |